



広報

フルーツの香り漂う ロマンの里

# おおくま

11

2014 (平成26年)  
No.508



## 今月の主な内容

特集	②～⑦
まちの話題	⑧～⑩
KIZUNAおおくまふれあい通信	⑫～⑮
町民掲示板	⑲～⑳

## 士気高く

— 消防団秋季検閲 (2014.9.27) —

平成25年度

# 決算報告

9月定例会において、平成25年度一般会計決算および特別会計決算が承認されましたので、地方自治法ならびに町条例の規定によりお知らせします。

一般会計の歳入総額は96億8434万8千円、歳出総額は93億944万1千円となり、歳入歳出差引額は3億7490万7千円となりました。

平成24年度に比べ、歳入は、町税8億171万2千円の増額、県支出金2億2763万2千円の増額、諸収入3億3569万3千円の減額などにより全体では8億2720万8千円(9.3%)の増額となりました。歳出は、総務費13億2853万4千円の増額、衛生費1億8931万円の増額、教育費4億2768万9千円の減額など、全体では10億4644万8千円(12.7%)の増額となりました。

## 主な事業と決算額

### ◆総務費

- 庁舎空調設備工事 7,297万5千円
- 総合振興（復興）計画策定事業 3,787万5千円
- ICT（タブレット）活用事業 1億8,818万円
- 電源立地地域対策交付金事業  
修繕維持補修基金積立金 15億6,149万8千円
- 電源交付金施設維持運営事業基金  
積立金 5億210万8千円
- 東日本大震災復興基金  
積立金 30億4,785万2千円
- 東日本大震災復興交付金  
基金積立金 6,000万6千円

### ◆民生費

- 老人福祉事業 5,743万8千円
- 自立支援事業 9,917万1千円
- 後期高齢者医療費 1億1,970万3千円
- 児童手当支給事業 2億2,575万円
- 災害弔慰金支給事業 7,750万円
- 津波被害見舞金 5,200万円

### ◆衛生費

- 予防接種事業 2,259万2千円
- 町内公営墓地環境整備事業 1億3,195万6千円
- 広域圏組合衛生費負担金 9,137万3千円
- 住民健康増進事業 4,305万4千円
- 放射線対策費 3,267万5千円

### ◆農林水産費

- 防火帯設置工事 3,570万円
- 県漁業信用基金協会貸付事業 2,000万円

### ◆商工費

- 大熊町中小企業合理化資金  
融資制度貸付事業 1億1,500万円

### ◆土木費

- 道路維持事業 2,359万5千円
- 会津若松市仮設住宅管理事業 1億1,724万2千円
- いわき市仮設住宅管理事業 2,606万2千円

### ◆消防費

- 広域圏組合消防費負担金 1億5,048万1千円
- 防火水槽新設工事 2,467万5千円
- 見回り隊パトロール業務委託事業 4,311万5千円

### ◆教育費

- スクールバス運行委託事業 1億2,802万1千円
- 小学校管理事業 4,897万1千円
- 中学校管理事業 1,517万4千円
- 幼稚園管理事業 4,485万2千円

### ◆災害復旧費

- 屋根養生補修工事 1,340万9千円

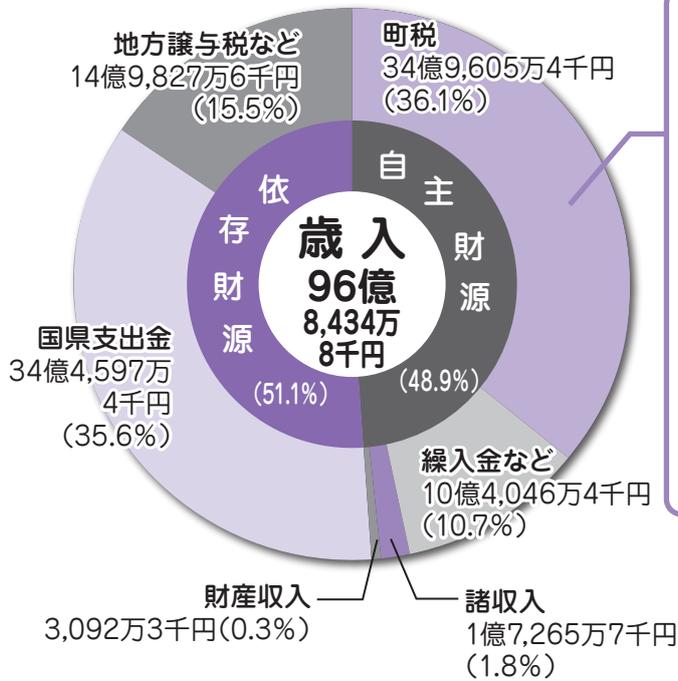
### ◆公債費

- 元利償還金 4,117万1千円

### ◆諸支出金

- 国民健康保険特別会計繰出金 1,748万1千円

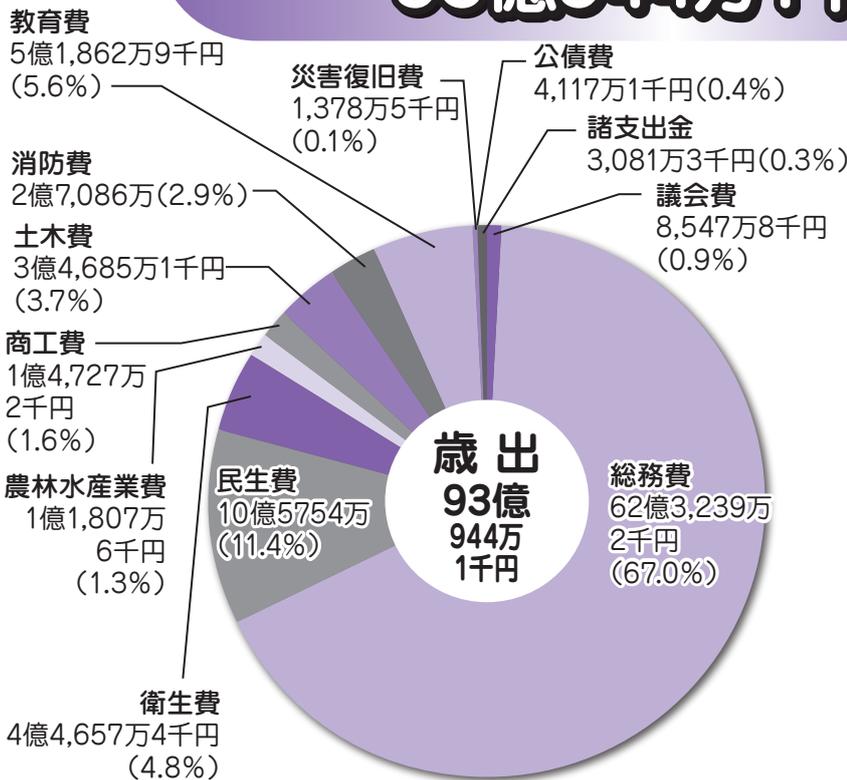
# 一般会計歳入決算の状況 96億8,434万8千円



## 町税収入内訳

〔町民税〕	2億7,224万3千円 (7.8%)
個人	2億819万6千円 (76.5%)
法人	6,404万7千円 (23.5%)
〔固定資産税〕	32億863万1千円 (91.8%)
土地	2,675万7千円 (1.1%)
家屋	3億587万2千円 (12.9%)
償却資産	20億3,337万1千円 (85.7%)
交納付金	669万6千円 (0.3%)
〔軽自動車税〕	1,518万1千円 (0.4%)

# 一般会計歳出決算の状況 93億944万1千円



## 町民1人当たりの支出額 85万4,156円

○議会費	7,843円
○総務費	57万1,832円
○民生費	9万7,031円
○衛生費	4万974円
○農林水産業費	1万834円
○商工費	1万3,512円
○土木費	3万1,824円
○消防費	2万4,852円
○教育費	4万7,585円
○災害復旧費	1,265円
○公債費	3,778円
○諸支出金	2,827円

(平成26年3月31日現在の人口(10,899人)より計算)

## 町債の状況

町の借金である町債は、下水道や総合体育館、健康公園など施設整備の財源調達を目的に起こされました。平成25年度末の町債残高は62,403千円です。町民一人あたりに換算すると5,726円となります。

## 基金の現状

(単位：千円)

区 分	平成 24 年度末 現在高	平成 25 年度中		平成 25 年度末 現在高
		積 立 金	取 崩 額	
財政調整基金	7,339,693	317,553	0	7,657,246
その他の基金	11,648,942	5,178,352	715,922	16,111,372
特別会計の基金	399,945	214,706	13,346	601,305
合 計	19,388,580	5,710,611	729,268	24,369,923

## 特別会計歳入歳出決算の状況

特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計で、大熊町には以下の特別会計があります。

区 分	歳 入	歳 出	差 引
坂下ダム施設管理事業	3,955万8千円	3,763万7千円	192万1千円
国民健康保険	26億4,198万円	23億3,792万9千円	3億405万1千円
奨学資金貸与	6,327万5千円	3,458万9千円	2,868万6千円
地域下水道事業	212万8千円	193万1千円	19万7千円
特定環境保全公共下水道事業	34万4千円	6万6千円	27万8千円
農業集落排水事業	30万1千円	1万9千円	28万2千円
住宅団地造成事業	5万円	4万7千円	3千円
工業団地造成事業	5万円	4万7千円	3千円
中央台霊園管理事業	178万円	160万8千円	17万2千円
介護保険事業			
・介護保険事業勘定	11億4,930万3千円	10億6,349万3千円	8,581万円
・介護サービス事業勘定	561万7千円	515万4千円	46万3千円
後期高齢者医療	2,317万4千円	2,287万9千円	29万5千円

# 健全化判断比率および資金不足比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき平成25年度決算の健全化判断比率および資金不足比率の状況をお知らせします。

## 1 健全化判断比率

指標名	大熊町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	-1.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	

(備考) 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は、「—」で表示しています。

### ◇実質赤字比率

一般会計等※1を対象とした実質赤字額の標準財政規模※2に対する比率。  
一般会計等※1の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すもの。

### ◇連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模※2に対する比率。  
すべての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化し、財産運営の悪化の度合いを示すもの。

### ◇実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とする額に対する比率の3カ年平均。  
借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもの。

### ◇将来負担比率

地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模※2を基本とする額に対する比率。  
一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの。

※1 一般会計等…本町では、一般会計と特別会計のうち坂下ダム施設管理事業特別会計・地域下水道事業特別会計・中央台霊園管理事業特別会計が該当します。

※2 標準財政規模…町の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもの。

## 2 資金不足比率

特別会計名	資金不足比率	経営健全化基準
特定環境保全公共下水道事業特別会計	—	20.0%
農業集落排水事業特別会計	—	
宅地造成事業特別会計（住宅団地造成事業特別会計・工業団地造成事業特別会計）	—	

(備考) 資金不足比率が算定されない場合は、「—」で表示しています。

### ◇資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率。  
公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すもの。

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 総務課財政係

# 大熊町の職員給与

## (7) 職員手当の状況

期末手当 勤勉手当	区 分	6 月期	12 月期	計
	期末手当	1.225 月分	1.325 月分	2.55 月分
	勤勉手当	0.675 月分	0.675 月分	1.35 月分
	計	1.900 月分	2.000 月分	3.90 月分
職制上の段階、職務の等級による加算措置あり (12 月期は予定)				
退職手当 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	支 給 率	退職事由	自己都合	定年・勸奨
		勤続 20 年	21.620 月分	27.025 月分
		勤続 25 年	30.820 月分	36.570 月分
		勤続 35 年	43.700 月分	52.440 月分
		最高限度	52.440 月分	52.440 月分
定年前早期退職者に対する加算措置あり				
特殊勤務手当 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	職員全員に占める手当支給 職員の割合	32.2%	代表的な 手当の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税務職員の特殊勤務手当</li> <li>・ 幼稚園教諭の特殊勤務手当</li> <li>・ 伝染病防疫作業員の特殊勤務手当</li> <li>・ 災害応急作業等に従事する職員の特殊勤務手当</li> </ul>
	支給対象者職員 1 人当たり の平均支給月額	9,800 円		
	手当の種類 (手当数)	7 種類		
時間外勤務手当 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	正規の勤務時間を超えて勤 務したときに支給される手当 ・ 支給割合 39.8%	住居手当 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	【借屋・借間】 月額 9,500 円を超える家賃を支払っている 職員に対し 100 円～ 27,000 円	
扶養手当 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配偶者 13,000 円</li> <li>・ 配偶者以外の扶養親族 6,500 円 (職員に配偶者 がない場合にあつてはそ のうち 1 人については 11,000 円)</li> <li>・ 扶養親族のうち満 16 歳 の年度初めから満 22 歳 の年度末までの子 1 人 につき 5,000 円加算</li> </ul>	通勤手当 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	交通機関等 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 58,000円まで全額</li> <li>・ 58,000円を超えた場合 その超えた額の1/2を 58,000円に加えた額</li> </ul>
			交通用具 使用者	片道 2km 以上の通勤距離に 応じて 2,600 円～ 50,400 円

## (8) 特別職の報酬等の状況

給料 (報酬) 月額					期末手当			
給 料	町 長	616,000円	報 酬	議 長	232,800円	(26 年度支給割合)	計算の基礎となる額は、給 料・報酬月額に 15% 加算 した額 (12 月分は予定)	
	副町長	483,200円		副議長	199,200円			6 月期 1.4 月分
	教育長	440,000円		議 員	187,200円			12 月期 1.5 月分
					計		2.9 月分	

## (9) 職員数の状況 (全職種)

(単位：人)

部門 年度	一般行政							特別 行政	公営企業等			計
	議会	総務	税務	民生	衛生	農水	土木	教育	国保	介護	後期 高齢	
26	2	45	7	11	12	4	9	16	3	9	1	119

# お知らせします

町民の皆さんに一層のご理解をいただくため、町職員の給与などについて、お知らせします。

町職員の給与は、国の人事院や県人事委員会の給与勧告、他の地方公共団体の給与との均衡を考えながら、町議会の審議を経て、条例で定められています。

なお、ここに用いている数値は、毎年4月1日現在の「地方公務員給与実態調査」「地方公共団体定員管理調査」および「当初予算書」などを基にしています。

## (1) 人件費の状況（普通会計決算書）

年度	住民基本台帳人口	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率(B/A)
25	平成26年3月31日現在 10,899人	9,337,381千円	195,948千円	890,555千円	9.5%

(注)人件費には、特別職に支給される給与などが含まれます。

## (2) 職員給与費の状況（一般会計当初予算）

年度	職員数	給与費			
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計
26	98人	349,004千円	71,159千円	137,853千円	558,016千円

(注)職員手当には、退職手当は含まれていません。

職員とは、一般行政職員、学校以外の教育関係職員、幼稚園教諭、技能労務職員です。

## (3) 職員の平均給料月額および平均年齢の状況

(平成26年4月1日)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	293,800円	39.1歳
技能労務職	295,500円	55.3歳

## (4) 職員の初任給の状況

(平成26年4月1日)

区分	法定初任給	採用2年目経過日給料
一般行政職	大学卒	175,100円
	高校卒	142,500円
技能労務職	高校卒	139,500円

## (5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

(平成26年4月1日)

区分		経験年数					
		10～15年	15～20年	20～25年	25～30年	30～35年	35年以上
一般行政職	大学卒	290,900円	333,600円	357,300円	385,700円	402,800円	418,800円
	高校卒	216,100円	288,800円	323,600円	—	—	409,700円

## (6) 一般行政職の級別職員数の状況

(平成26年4月1日)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事補主事	主査等	主任主査等	主幹等	課長	総括課長	
職員数	24人	13人	31人	14人	12人	1人	95人
構成比	25.3%	13.7%	32.6%	14.7%	12.6%	1.1%	100%

(注)代表的な職種である一般行政職(税務職員、保健師、保育士、技能労務職、幼稚園職員を除く)職務とその職員数および構成比です。

## 表紙の写真 きびきび消防団検閲

大熊町消防団の秋季検閲式は9月27日、会津若松市の大野小・熊町小校庭で行われ、団員がきびきびとした動きを披露しました。県内外から団員66人が参加。渡辺利綱町長、吉田稔団長らが立ち会い、通常点検を受けたほか、規律訓練や分列行進を行いました。秋晴れの下、息の合った動作を披露する団員に、拍手が送られました。席上、団長表彰などが紹介され、地域の予消防防に尽力した長年の功績をたたえました。



通常点検を受ける消防団員

## 教育長4期目、武内氏に辞令交付

大熊町教育委員会の臨時会は10月1日開かれ、教育長に武内敏英教育委員（70）を選びました。武内教育長は4期目で、任期は平成30年9月までです。臨時会に先立ち、教育委員の任命が行われ、渡辺利綱町長が辞令書を手渡ししました。武内教育長は「避難生活は続いているが、教育の質向上と豊かな教育環境の整備に引き続き努力したい。社会教育についても、会津若松市の協力を仰ぎながら進めたい」と抱負を述べました。



辞令書を受ける武内氏（右）

## 町長杯パークゴルフ63人熱戦

平成26年度秋季町長杯パークゴルフ大会は10月3日、北塩原村のグランデコロリゾート・パークゴルフ場で開かれ、63人が秋空の下でさわやかに汗を流しました。紅葉が始まった山々をバックに、36ホールで腕を競いました。競技の結果、男子は富田英市さん、女子は富田睦子さんが夫婦で優勝しました。

▽男子①富田英市②泉篤③尾内光男▽女子①富田睦子②斉藤絹子③佐藤洋子



狙いを定めてショットを打つ参加者

## 高安関、いわきで町民と交流

大相撲の高安関は10月9日、大熊町役場いわき出張所を訪れ、仮設住宅の住民らと交流しました。町民が知人を通じて訪問を依頼し、実現しました。高安関は町民と親しげに記念写真に収まったり、握手やサインに気軽に応じたりしました。子どもたちは本物のお相撲さんに会えて大喜びの様子でした。1時間ほどの交流の間、高安関の周囲には笑顔が広がっていました。



子どもらと記念撮影に応じる高安関



義援金を集めた生徒会役員

## 広島土砂災害で大熊中が義援金

大熊中は6月に発生した広島土砂災害の被災地に対し、福島民報厚生文化事業団を通じて義援金を送りました。東日本大震災で全国から支援を受けた恩返しをしたいと、生徒会役員が中心となって取り組み、10月7日から4日間で57295円が集まりました。生徒会長の阿部朱也香さん(3年)は「全国からの支援には広島からのものもあったはず。被災した家を直したり、日用品をそろえたりすることに役立ててほしい」と話していました。

## 町立小学校の実習田で稲刈り

会津若松市の仮校舎で学ぶ大野小・熊町小児童は9月24日、実習田で栽培していたもち米の稲刈りを行いました。栽培は近くの農家の協力を得て今年初めて実施しました。5月に田植えたコメは黄金色に実り、栽培に当たった5年生約30人が鎌で10株ずつ刈り取りました。12月に開かれるもちつき大会であんこもち、きな粉もちなどにして振る舞われるそうで、児童は収穫の喜びを実感していました。



刈り取った稲を手に喜ぶ児童



メンバーの伴奏で歌を歌ったイベント

## 楽しく歌ってストレス解消

首都圏の合唱伴奏バンド「311有志」合奏団は9月20、21の両日、会津若松市内の仮設住宅を訪れ、住民に楽しい歌の時間を提供しました。このうち20日は河東学園仮設住宅で実施。メンバー10人余りがチェロやキーボード、バンドネオンで歌謡曲や童謡を演奏し、住民が大声で歌いました。住民がこれまでの苦労などを振り返り、メンバーが耳を傾ける時間もありました。21日は扇町一号公園仮設住宅でも活動しました。

## ふたばワールドに大勢の見物客

「ふたばワールド2014 inかわうち」は9月28日、川内村の川内小で開かれました。1000人分のもりたろう大鍋やふたば復興応援ライブ、双葉郡8町村のそれぞれの特色を生かしたテントがあり、大勢の来場者でにぎわいました。芸能人のステージや各地域のゆるキャラも登場。マミーすいとんや浪江焼きそばなどの飲食店、おおくまふるさと塾による木の実クラフトなども出店し、活気あふれるイベントとなりました。



大勢の人でにぎわったふたばワールド

## 若松で盛大にふるさとまつり

「大熊町ふるさとまつり in あいづ」は10月4日、会津若松市の松長近隣公園仮設住宅駐車場で開催されました。つきたての餅の配布やキャラクターショー、松原のぶえさんによるふれあい歌謡ショー、伝統芸能の熊川稚児鹿舞などがステージで披露されました。町民にはおなじみの喫茶レインボーの出店や体験型のコーナーなどが並び、子どもから大人まで来場者全員が笑顔になるひとときとなりました。



多くの町民が楽しんだふるさとまつり



足湯とハンドマッサージでリラックスする参加者

## どこでも足湯隊も好評

「ふるさとまつり in あいづ」の会場では、ボランティア団体どこでも足湯隊による出張足湯も開設され、参加者を癒しました。スタッフは足湯に浸かる参加者にハンドマッサージを施し、楽しい会話とともにリラックスしてもらいました。一日で50人近くが訪れ、音楽演奏も行われました。出張足湯は11月15、16の両日にも市内の仮設住宅で開設される予定です。

## 町民もメンバー、女声合唱団が公演

大熊町民4人が参加している会津若松市の会津アルテ女声合唱団は11月9日午後2時から、会津風雅堂で創立54周年コンサートを開きます。長嶺正子代表と町民メンバーの長谷川三重子さんは10月2日、町役場会津若松出張所を訪れ、渡辺利綱町長に抱負を語りました。2人は「歌を通じて貴重な時間を過ごしている。コンサートを素敵な思い出にしたい」と話しました。コンサートは入場500円。



コンサートの抱負を語る長谷川さん（左）と長嶺さん



読み聞かせに聞き入る児童

## 読み聞かせに児童が夢中です

大熊町図書ボランティア（夏目陽子代表）は会津若松市の大野・熊町小、大熊中で読み聞かせ活動を続けて、子どもたちに喜ばれています。震災前から活動していましたが、震災後はメンバーが市内外から集まり、小学校に月1回、中学校には週1回訪れています。10月8日は小学生を相手に、紙芝居やパネルシアターなどを披露しました。代わる代わる紹介される楽しいお話に、児童は夢中で聞き入っていました。



学習成果を披露する児童

## 児童の学習成果発表に感動

熊町小・大野小の合同学習発表会は10月18日、会津若松市河東町の仮校舎で開かれました。1年生は初めての発表にどきどきしながらも、大声で元気よく「おおくまっこのかぶ」を披露。最後の発表会となる6年生は宮沢賢治の作品から「雨ニモマケズ」「よだかの星」の群読を行いました。最後に会場の人たちと一緒に「ふるさと」を歌いました。見守った保護者や教職員の皆さんは児童の真剣な発表に感動し、会場が拍手で包まれました。

## 市町村ソフト、大熊町チーム惜敗

第1回市町村対抗県ソフトボール大会は10月18日、相馬市で開幕し、大熊町は川俣町と1回戦を行いました。規定の7回を終えて4-4の同点で勝敗が決まらず、無死二塁から始まる特別ルールによる延長戦の結果、5-6で惜敗しました。2回戦には進めなかったものの、1-3で迎えた7回に3点を奪って逆転するなど、チームは粘りを見せました。会場には鈴木茂副町長はじめ町関係者が詰めかけ、選手に声援を送りました。



市町村ソフトで善戦した大熊町チーム



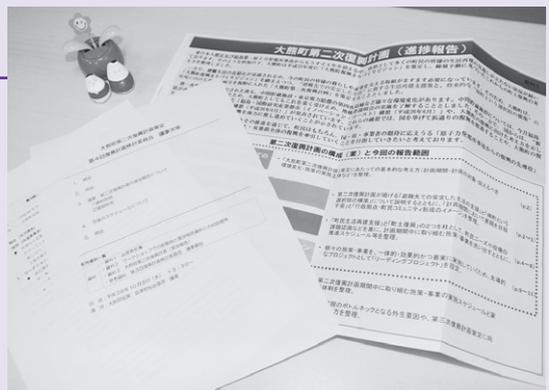
布絵づくりに集中する参加者

## 布絵づくりで充実の時間

避難先で周囲と交流する機会が少なくなつたと感じている方たちを対象とした大熊町地域包括支援センターの「のほほんクラブ」の第3回教室は10月14日、会津若松市のおおくまサロンのゆつくりすつべで開かれました。市内の女性6人が参加し、布絵づくりに挑戦しました。さまざまな色や柄の布きれを好みの大きさに切り、アイロンで張り付けて心に浮かんだ風景画を作成しました。参加者は製作に熱中し、充実した時間を過ごしました。

## 第4回復興計画検討委を開催

大熊町第2次復興計画の策定に向けた第4回検討委員会は10月8日、町役場会津若松出張所で開かれました。前回、ワークショップ形式で議論した町民生活支援策などを盛り込んだ計画の進捗状況について事務局が報告。これを受けて委員は支援策の案などについて確認や検討を行いました。次回は計画の中間報告案が示される予定です。町は今後も、委員会での検討状況などについてホームページ等で報告していきます。



委員会で検討が進められている計画の資料

# KIZUNA おおくまふれあい通信

第19号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



町文化展



大野小の森林教室



熊町幼稚園の生活発表会

## 「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係  
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093  
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 会津若松市

さくま すみお

## 佐久間 住夫 さん

自宅は熊1区で、被災当時は副区長を務め、昨年から同区長を務めている。大熊では、稲作と牛の繁殖などを行っていた。

現在、会津若松市内の仮設住宅で、両親や妻とともに生活している。

※写真左は妻文子さん



会津若松市での生活を始めてからしばらくして、偶然、新聞の折込チラシで、鎧（よろい）づくり講座の受講者募集を知り、平成24年から通い始めました。鎧といえば、私たちの住む相双地区には相馬野馬追があるため、決して珍しい存在ではありませんが、鎧づくりについては全く初めてのことでした。

会津の鎧づくりは、あらかじめ部品の形に成形された和紙を、一閑張りのように一枚ずつ貼り合わせていき、厚みをもたせ、最後に漆を塗って仕上げます。あらかじめ必要な厚さに切った木や金属の板を使えば簡単だと感じられるかもしれませんが、木の板を使えば繊維の方向で曲がりや歪みを起こしやすくなり、金属の板を使えば重さが増して着る人にとっては容易ではありません。1枚ずつ紙を貼り合わせていくことは、気の遠くなるような作業ですが、平成24年、25年の2年間を製作に費やし、鎧2基が完成の日を迎えました。今年9月23日にも、この鎧を着て会津祭りに参加しました。また、この鎧が縁で、各種啓発活動など様々なイベントに声がかかるなど、それなりに忙しい日々を送っています。

私は、平成25年2月から熊1区の区長を引き受けさせていただいております。被災当時は副区長だったため、震災の翌日、避難指示が出された時には、区の役

員とともに、区内の皆さんの避難状況を見届けた後で町を離れました。私たち一家は、私は行政区活動、長男は消防団活動に当たるなどしたため、家族が複数に分かれての避難となってしまいました。避難から数日中にはお互いに連絡が取れ、所在を確認できるように取りましたが、家族全員で再び揃うことができたのは、二次避難所となった猪苗代湖畔のペンションでした。

現在、私は妻や両親と共に会津若松市で、子どもたちはいわき市内でそれぞれに生活しています。会津は浜通りとは違った豊かさ、すばらしさがありますが、長年、海のそばで生まれ育ってきたせいか、「水平線から陽が昇る」風景が恋しくなることがあります。妻は、山形県生まれのため、日の出、日の入りともに山からの風景であることに違和感を覚えるようです。結婚以来、慣れ親しんだ海や新鮮な魚が恋しいようです。

現在、鎧関係のほか毎週、仮設住宅内のパークゴルフに参加しています。妻は町のボランティア活動に参加する傍ら、長年続けているバドミントンに汗を流しています。両親の故郷に対する恋しさは私たち以上かと思われ、環境の変化による負担などが心配されましたが、元気に生活しています。



福島県 会津若松市

いしだ むねあき  
石田 宗昭 さん  
きみこ  
キミ子 さん

自宅は大川原2区、宗昭さんは元・双葉地方森林組合長（現・監事）。長年、夫婦で山里の恵みを生かした活動が続け、町特産品の一つ「しいたけ味噌」の製造者。現在、会津若松市内の仮設住宅で生活している。



私たちが夫婦は梨、鮭と並んで町特産品の一つとなっている「しいたけ味噌」の製造と販売をしていました。自宅がある大川原地区は山に囲まれ、山の恵みを受けて生活してきました。かつては林業が地域を支えていましたが、昭和40年代以降、外材の流入などにより林業をめぐる環境が厳しくなるのに伴う山林の荒廃や、高齢化や過疎化に伴い放置を余儀なくされる里山が目立つようになりました。そんな中、間伐雑木を利用した原木しいたけ栽培を始めました。通常、広く用いられているしいたけ栽培の原木は、その太さが10センチ前後なのに対して、私たちが利用している原木は太いもので数十センチになります。このため菌の張り（植物でいえば根の張り）が良く、原木の栄養をたっぷり吸収し、肉厚で形が大きく、うまみがたっぷりの「こだわりのしいたけ」でした。

また、時期を前後して減反政策が始まりました。休耕といえれば聞こえは良いかもしれませんが、時間と共に耕作放棄地となり、荒廃がすすむばかりか、周囲で耕作中の田畑に、病害虫などの悪影響が及びます。そこで、大豆をはじめ、転作作物の栽培を行うようになりました。少しでも山や田畑を荒らさないことが、そこを流れる川と、川の水が注ぎ込む海を守ることに繋がると、様々な活動に取

り組んできました。そうして収穫された作物を用いて加工品の製造を行うようになりました。大豆を利用した味噌づくりをはじめ、梅、ゆずや古代米など、10種類以上の加工品が誕生しました。しいたけ味噌もそのうちの一つで、味噌にしいたけを入れ1年間熟成させ、味噌としいたけの旨みがたっぷりの傑作となりました。評判も上々で、町特産品の一つとなり、町内外で多くの皆さんから愛顧いただけるようになりました。

原発事故に遭い、生産ができなくなってしまう。心にぽっかりと穴が開いてしまったようで、辛く悲しいものです。しかし、避難後、ご愛顧いただいた皆さんから、多くの励ましの声をいただき、とてもありがたく感じています。町を離れてしばらく、何も手に付かない日々が続きましたが、そうした皆さんの声に支えられ、妻は、会津若松市河東町に畑を借りて野菜を栽培し、収穫したものを友人知人をはじめ皆さんに配って喜ばれるなど、少しずつ日常を取り戻しつつあります。

震災の10日後、次男は結婚式を控えていました。避難により挙式どころではなくなってしまうましたが、ブライダルデザイナー桂由美氏が主催した被災カップルの挙式支援活動により、予定より約半年遅れで式を挙げることができました。



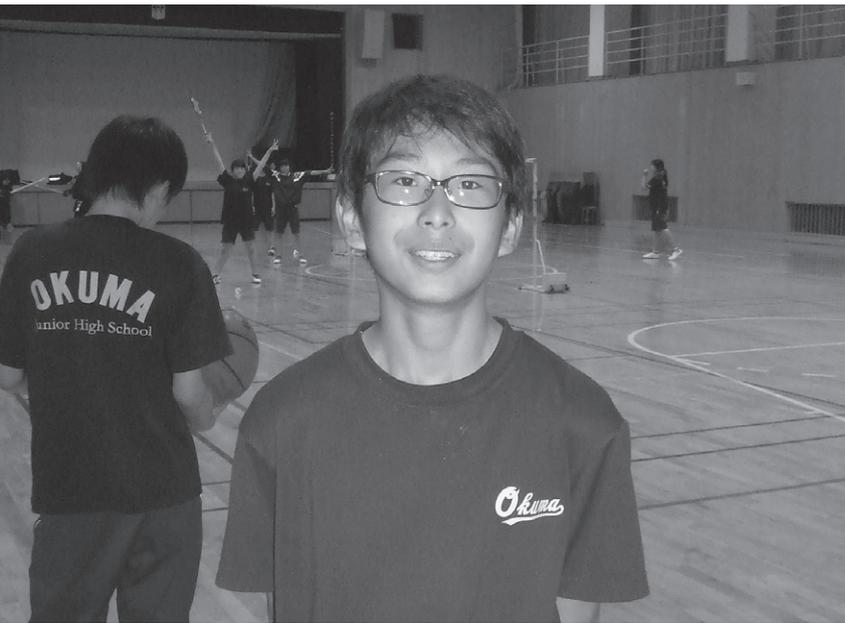
福島県 会津若松市

はんぐい かなと  
半杭 奏人さん

大熊中学校 1年生

自宅は大野1区。被災当時は大野小学校3年生。

幼いころから好奇心が旺盛で、物事には積極的に取り組むタイプ。部活動はバスケットボール部に所属している。現在、母や姉妹とともに会津若松市内の仮設住宅で生活している。



「奏人」という名前で「奏」という文字が使われているため、音楽にゆかりがあるのですかと聞かれることがあります。苦手な教科は「音楽」で、体を動かしたりすることのほうが得意なキャラクターです。

震災に遭った時、私は小学3年生で、学校からの帰宅途中でした。大きく長い地震の揺れに、驚いて動けなくなるといふより、路上を飛び跳ねてしまいました。けがもなく帰宅することができましたが、自宅内は家具が倒れたり物が散らかったりしており、入れるような状態ではありませんでした。

翌朝、避難バスに乗る前に一度、自宅に戻りましたが、荷物をまとめるような時間もなく町を離れました。原発事故による避難だというのは後で知らされました。

会津には、幼いときに下郷町の大内宿に来たことがあり、そばを食べた記憶があります。それ以来、2度目の会津となりましたが、まさか、その2度目が避難生活になるとは思いませんでした。海がなく、冬は雪が多く降るなど大熊とは環境がかなり違いますが、それだけではなく方言も違っていて、初めのうち、「こらんしょ」という言葉の意味が分からないということもありました。

平成23年4月、学校が再開することになり、同級生たちが集まりましたが、仲が良かった友達の姿はありませんでした。

た。避難した時は小学校3年生で携帯電話を持っていなかったため、友達同士で連絡を取る手段がなく、どこへ行ってしまったのか分からないままになってしまいました。

中学校ではバスケットボール部や特設陸上部に所属しています。入学間もなくは、姉が入部していた吹奏楽部に入ろうかとも思いましたが、体を動かすほうが楽しいと思うようになりました。そんな時、同級生の4人から「あと1人いれば試合に出られる」と誘われてバスケットボール部への入部を決めました。バスケットボールを見ているぶんには楽しそうでしたが、実際にやってみると、ひたすらボールを追うことが多いなど辛く感じることもありましたが、それでも少しずつ慣れ、いろいろな技に挑戦できるなど、面白さを感じられるようになりました。

現在、私は犬を飼い、ニホントカゲ、金魚やウーパールーパーを飼育しています。ニホントカゲは昨夏、飯盛山で捕獲したものです。大熊で生活していたころは、遊べるところはいくらでもあり、わざわざ飼わなくても、周りにはそうした生き物が沢山いました。ここではそうもいきません。しかし、こうした飼育を通して、自然や環境にも関心を持つようになりました。

# 町制施行60周年記念講演会を 開きます

大熊町は町制施行60周年記念行事の一環として講演会を開催します。入場無料で、事前の申し込みは不要です。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

◆日 時 平成26年11月16日（日） 開場13：00 開演13：30

◆会 場 会津若松ワシントンホテル（会津若松市白虎町201）

☎0242-22-6111

◆講 師 まつだいら さだとも  
松平 定知氏

◆演 題 私の取材ノートから

◆講師紹介



## 《プロフィール》

【肩 書】京都造形芸術大学 教授  
国学院大学 客員教授

## 【略 歴】

1944年11月生まれ

1969年 3月 早稲田大学卒業

4月 NHK入社

6月 NHK高知放送局

1974年 8月 NHK東京アナウンス室

2007年 11月 NHK退職

## ※主な番組歴

「連想ゲーム」「日本語再発見」などの司会を経て「モーニング7」や「19時ニュース」「ニュース11」など、TVニュースを15年。NHKスペシャルは「世紀を越えて」「新シルクロード」「マネー資本主義」などの各シリーズや単発ものを含めて100本以上。2009年3月まで「その時歴史が動いた」を丸9年担当。このほか「アンコールワット」「英仏海峡トンネル開通式」「ミレニアム中継地中海」など、海外長時間生中継シリーズ。「朝の連続テレビ小説・かりん」などのナレーションのほか、「各種選挙開票速報」や一連の「昭和史報道」「湾岸戦争」、それに「紅白歌合戦」などの特別番組にも多数出演。現在、TV「世界遺産100シリーズ」や、NHKスペシャル「日本人はなぜ戦争へ向かったのか」、ラジオ深夜便・「藤澤周平を読む」を放送中。

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 総務課

# 「大熊町ふるさとまつり in いわき」 が開かれます

11月8日（土）に「大熊町ふるさとまつりinいわき」を開催します。

キャラクターショーやふれあい歌謡ショー等、みなさんに楽しんでいただけるようなステージイベントも準備しておりますが、各イベントの時間に関しては諸事情により変更になる可能性がありますのでご了承ください。

当日は会場周辺の好間工業団地内に臨時駐車場を設けますので、誘導員の指示に従って駐車をお願いします。臨時駐車場は数に限りがあり混雑も考えられますので、車でお越しの際は乗り合わせでお越しいただきますようご協力をお願いします。

## ◆開催日時 平成26年11月8日（土）

- ・開会式 10：00～10：20
- ・キャラクターショー 10：30～11：00  
【ウルトラマンギンガストリウム  
&ウルトラマンゼロショー】
- ・伝統芸能&町民による歌謡披露 11：10～12：00  
【熊川稚児鹿舞・ボイスおおくま】
- ・ふれあい歌謡ショー 12：30～13：30  
【田川寿美】
- ・参加型イベント 13：40～14：20  
【一般参加ゲーム実施】
- ・キャラクターショー 14：30～15：00  
【ウルトラマンギンガストリウム  
&ウルトラマンゼロショー】
- ・閉会 15：00

※ステージイベントの内容及び時間は変更になる場合がありますので予めご了承ください。



熊川稚児鹿舞



田川寿美

## ◆開催場所 大熊町役場いわき出張所東側駐車場 (いわき市好間工業団地1-43)

【お問い合わせ先】大熊町観光協会（大熊町商工会内）  
携帯①080-1662-1193  
②080-1662-1194

# 大熊町ミニ文化展を開きます！

大熊町は日頃の文化活動の発表の場としてミニ文化展を開催します。多彩な作品が多数展示されますのでぜひご覧ください。

## ◆会期と会場

開催日	時間	場所
平成26年11月1日（土） ～11月2日（日）	午前9時～午後5時	大熊町役場会津若松出張所2階
平成26年11月8日（土）	午前9時～午後5時	大熊町役場いわき出張所2階

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 教育総務課  
☎0120-26-3844

## 消防署から



11月9日～15日まで  
秋の全国火災予防運動  
が実施されます！

火災が発生しやすい季節を迎えます。住民一人一人の火の取り扱いには十分気をつけてお過ごしください。



### 住宅防火 【いのちを守る3つの習慣】

- 寝たばこは絶対にしない。
- 暖房器具周辺には物をおかない。
- 火元からはなれない。



### 火事と救急は119番

<消防署連絡先>

- ◇浪江消防署 0240-38-2119
- ◇富岡消防署 0240-25-2119



## 復興公営住宅 定期募集のお知らせ

福島県では復興公営住宅の募集を行っていますが、再々募集で募集に満たなかった団地や入居後に退去者が出た場合に、空住戸の募集を行います。

毎月15日頃に対象住戸を確定し翌月前半に応募を受付します。

今回募集するのは、下記の通りです。

### ○募集団地

所在地	団地名	棟名	間取り	一般・優先別	募集戸数
福島市	北信	1号棟	2LDK	一般	2
会津若松市	古川町	1号棟	3LDK	一般	2
郡山市	日和田	1号棟	2LDK	優先	1

### ○募集期間

平成26年11月5日（水）

～平成26年11月11日（火）

### 【お問い合わせ先】

福島県復興公営住宅入居支援センター

☎024-522-3320

HP <http://www.npo-junkan.jp/fukkou/>

## 相双地区サロン開催

- ・相双地区の方々の交流の場として
  - ・他のサロンとの交流の場として
  - ・勿来地区で生活する上での疑問・質問・情報の提供など
- ～交流をしながら、楽しい時間を過ごしましょう～



なこそ交流スペーススタッフ一同お待ちしております！

日程 **毎月 第3木曜日** ※お盆・お正月等はお確認ください

時間 **10:00 から 15:00**

内容 裁縫、小物作り、お茶、お話、等々

場所 **なこそ交流スペース** ※送迎は、ご相談ください。



### <問い合わせ先>

特定非営利活動法人勿来まちづくりサポートセンター  
なこそ復興プロジェクト/なこそ交流スペース  
〒974-8223 いわき市佐糠町東1丁目19-5  
Tel 0246-63-5055  
Fax 0246-63-5056  
E-mail [nakoso@silver.ocn.ne.jp](mailto:nakoso@silver.ocn.ne.jp)  
<http://nakoso.net>

## 就職

### ふくしま大卒等合同就職面接会を開きます

平成27年3月、新規に大学等を卒業予定の方、平成24年3月以降に卒業して就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催しま

す。若者応援企業を中心に県内企業100社が参加予定です。ぜひご参加ください。

#### ◆日時と内容

11月26日(水)

・オリエンテーション

午後0時30分

・事業所PRタイム

午後0時50分

午後0時50分

・午後1時50分

・合同就職面接会

午後2時～午後4時

#### ◆会場

ビッグパレットふくしま  
(郡山市南二丁目52番地)

#### ◆主催

厚生労働省福島労働局、福島・郡山新卒応援ハローワーク、福島県

その他

#### ◆その他

・事前申し込み不要、お気軽にお越しください。

・参加事業所は開催1週間前

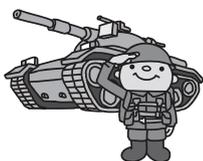
## 募集

### 自衛隊員を募集しています

自衛隊福島地方協力本部は次の通り自衛隊員を募集しています。試験についての詳細は自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所までお問い合わせください。

#### お問い合わせ先

自衛隊福島地方協力本部  
会津若松出張所  
☎0242412716724



までに、福島労働局ホームページ上で公開します。・事業所のブースでの人事担当者との個別面談、ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供などを行います。

#### お問い合わせ先

福島労働局職業安定課  
☎024452915396

募集職種	資格	受付期間	試験期日	将来の展望
高等工科学校生徒	推薦 男子中卒(見込み含む) 17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる者	平成26年 11月1日～12月5日	平成27年 1月10日～12日 *いずれか1日を指定されます。	将来、陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成するため中学校卒業等を対象に採用する制度です。
	一般 男子中卒(見込み含む) 17歳未満の者	平成26年11月1日 ～平成27年1月9日	1次試験 平成27年1月24日 2次試験 平成27年2月5日～8日	

# 相談

## 個人版私的整理ガイドラインについて

金融庁と財務局から大切なお知らせです。東日本大震災により住めなくなった家の住宅ローン、残っていますか？

「個人版私的整理ガイドライン」を利用することにより、住宅ローンなどの免除を受けることが出来ます。

※債務の免除には、一定の要件を満たすことが必要となります。

「個人版私的整理ガイドライン」を利用するメリットは、  
①個人信用情報の登録などの不利益を回避できます。

②国の補助により、弁護士費用はかかりません。  
※運営委員会に登録された弁護士に費用に限りです。

③手元に残せる現預金の上限が、500万円を目安に拡張されています。義捐金等は、上記500万円とは別に手元に残すことができます。

※被災状況、生活状況などの個別事情により減額が有り得ます。

この制度は被災された方の生活再建を支援するための制度です。まずはご相談を！

### お問い合わせ先

#### 個人版私的整理

#### ガイドライン運営委員会

コールセンター

☎0120-380-883

福島支部

☎024-526-0281

※受付時間

平日午前9時～午後5時

## 税務課からのお知らせ

この度、震災以降続いていた所得税の申告期限延長が解除となり、来年の3月31日が申告の期限と定められました。

これに伴いまして、税務署では9月29日から11月28日までの間、被災者の方に対する申告相談の期間を設けております。期限直前は混雑が予想されるため、平成22年分から平成25年分までの申告がお済みでない方や、雑損控除の申

告をご希望の方は、なるべくこの機会での申告をお願いします。

詳細につきましては、広報9月15日号に同封されている税務署からのお知らせをご覧ください。

### 雑損控除について

原発事故の被災者の方につきましては、東電からの家財の賠償額が国税庁で定める家財の評価額と異なるため、雑損控除を受けられる場合があります。震災当時の家族構成等により評価額が異なりますので、詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所  
税務課



## 福島県内の税務署の所在地・電話番号等

税務署	所在地	電話番号
福島税務署	福島市森合町 16-6	024-534-3121
会津若松税務署	会津若松市城前 1-82	0242-27-4311
郡山税務署	郡山市堂前町 20-11	024-932-2041
いわき税務署	いわき市平字菱川町 6-3	0246-23-2141
白河税務署	白河市中田 5-1	0248-22-7111
須賀川税務署	須賀川市東町 135-1	0248-75-2194
喜多方税務署	喜多方市字花園 38 (旧福島地方務局喜多方出張所)	0241-24-5050
相馬税務署	相馬市中村字曲田 92-2 ※相談会場はピアフレスコ (南相馬市原町区北原字境堀 225)	0244-36-3111
二本松税務署	二本松市亀谷 1 丁目 29	0243-22-1192
田島税務署	南会津郡南会津町田島字寺前甲 2939-2	0241-62-1230

※電話によるご相談とご予約は、自動音声に従って「0」番を選択してください。なお、電話による受付は平日の午前9時から午後5時までです。

お知らせ

年末調整説明会を開きます

福島県内の各税務署は11月、平成26年分年末調整説明会の開催を予定しています。詳しくは源泉徴収義務者あてに送付した年末調整関係書類をご確認ください。

なお年末調整関係書類については、税務署にお届けのある住所あてに送付していますので、まだ送付されていない方は、お問い合わせ願います。

お問い合わせ先

相馬税務署  
法人課税第一部門  
☎0244-3613111  
(音声案内で「2番」を選択してください)



人権擁護委員の委嘱について

平成26年10月1日付で、町の人権擁護委員として次の方々が法務大臣から委嘱を受けました。任期は平成29年9月30日までの3年間です。

〈再任〉

◇新谷 孝明さん(熊)  
◇林 理恵子さん(下野上)  
◇田澤 憲郎さん(下野上)

人権擁護委員は、町民のみならず人権が侵害されないよう正しい人権の考え方を広める啓発活動や町民のみならずの人権相談などに活躍いただきます。

相談は無料で秘密は厳守しますので、なにかお困りごとがある方はお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所  
住民課住民係

高齢者肺炎球菌の予防接種のお知らせ

広報おおくま10月1日号でお知らせしましたが、今年度

対象になる年齢で、すでに肺炎球菌ワクチンの接種を受けた方は対象になりません。ご不明な点は保健センターまたはかかりつけの医師にご相談ください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所  
保健センター  
☎0120-2613844

交通安全

PM4(ピーエムフォー)ライトオン運動を実施中です

例年、秋口から冬期にかけては、日没時間が早まるため交通事故が増加し、特に午後4時から午後7時の時間帯は、横断歩行者や自転車利用者等が被害者となる重大事故が多発する傾向にあります。

また、日没前後は下校、買い物、退社などで道路交通が混雑することに加え、視認性が低下して周囲の状況が確認しにくくなり、ドライバーも一日の疲れが重なり集中力が低下しがちです。

このような状況下で車両を安全に運転するためには、自車の存在をいち早く周囲に知らせるほか、交通の危険を早期に発見して回避することが重要です。

このため、これからの時期の交通事故防止対策として、ドライバーに対し「午後4時を目安としたライトの早め点灯」および「ライトの上向き・下向き」のこまめな切替えによる安全運転を促すなどして交通事故の防止を図ります。

◆期間

平成26年11月1日(土)  
～平成27年2月28日(土)

◆主唱

福島県・福島県交通対策協議会

◆推進機関・団体

福島県交通対策協議会構成機関・団体  
地方交通対策協議会構成機関・団体  
市町村、市町村交通対策協議会構成機関・団体

会津大短期大学部で「子どものための味覚教育」

会津大短期大学部地域活性化センターは11月22日、特別公開講座「子どものための味覚教育」を開きます。味覚教育の創始者ジャックピユイゼ博士(フランス)と連携し、日本で味覚教育を提唱している千葉大の石井克枝教授が、子どもの五感を育てる味覚教育のポイントを紹介し、皆さんの参加をお待ちしています。

- ◆日時：11月22日(土)午後1時30分～
- ◆会場：会津大短期大学部310教室
- ◆参加費： 無料
- ◆申込期限：11月18日(火)※先着150人まで。

【お問い合わせ先】  
会津大短期大学部 ☎0242-37-2300

# 県民健康管理ファイル説明会を開きました

大熊町は9月、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターと福島県の担当者を招き、会津若松市で県民健康管理ファイルの活用に関する説明会を開きました。

震災後の大熊町の動きや一時立ち入りを含めた放射線関係の記録や、総合健診の結果やお薬手帳など健康の記録を綴っておきましょう。

基本調査の回答は全県で26.4%（H26年6月30日現在）と少ないですが、大熊町は52.3%の方に提出していただいています。提出者のほとんど（96.9%）は初期被ばく2mSv未満でした。



- ①基本調査を提出したか分からない時、結果通知をなくした時はどうしたらよいか。  
→福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター（☎024-549-5130）に問い合わせていただければ、提出しているかの照会、結果の再発行ができます。（土日祝日を除く午前9時～午後5時）
- ②内部被ばく検査結果の説明が足りないと感じる。  
→県の内部被ばく検査を受けた方の相談窓口としてコールセンターを設置しています。
- ③ファイルはどの市町村に配布されているか。  
→基本調査を提出した方、甲状腺検査の対象者に配布しています。また浜通りには基本調査を提出していなくても全員に配布済みです。
- ④ファイルの記入欄が足りなくなった時はどうすればよいか。  
→県のホームページからダウンロードが可能です。

※分からないときは大熊町保健センター（☎0120-26-3844）へお問い合わせください

※今後、会津若松市以外でも説明会を実施予定です。

## 小児健診は受診されましたか？

長引く避難生活や放射線への不安は、お子さまの健康に影響を与えることが懸念されています。小児検診は疾病の早期発見、早期治療のために行っています。

受診可能日は、平成26年12月までの診療日(開院日)となっています。今年度の受診期間も残りわずかです。冬期は感染症や予防接種等により医療機関の混雑が予測されるため、お早めに受診されることをお勧めします。

**対 象** 平成23年度時指定避難区域の住民で、平成11年4月2日から平成26年4月1日までに生まれた方(0歳～6歳及び小学1年生～中学3年生)

**費 用** 無料



※受診できる医療機関など、詳しくは対象の方にお送りしている「小児健康診査」に関するお知らせをご覧ください。

【お問い合わせ先】福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
☎024-549-5130(土日祝日を除く9:00～17:00)

## 「ふら～っとルーム」のお知らせ

ふくしま心のケアセンター会津方部センターは住民の方が気軽に立ち寄りくつろいで自由にすごしていただける場「ふら～っとルーム」を会津若松市内3ヶ所で開催しています。どうぞご利用ください。

場 所	日 時
ゆっくりすっぺ	毎週月曜日(祝日を除く) 午後1時30分～3時30分
交流ステーション コミュニティー結.com	11月18日(火) 午後1時30分～3時30分
第二中学校西応急仮設住宅集会所	11月13日(木) 午前10時～12時

ふくしま心のケアセンター 会津方部センター  
TEL.0242-28-6252

会津地域

# ちびくまランド

子育てや生活のことなど、みなさんで気軽にお話しましょう!

会津地域にお住まいのお子さんとママ、妊婦さんたちを対象に交流会を開催します。

みなさんで楽しくおしゃべりしませんか?参加者は大熊町の方です。ぜひご参加ください。



**日時** 11月17日(月)10時~12時

**場所** おおくまサロン ゆっくりすっぺ

**対象者** 概ね0、1歳児と保護者、妊婦さん(上のお子さんの参加も大歓迎!!)

**内容** 母子健康手帳、バスタオル(ベビーマッサージ用)、育児に必要な物、身体計測、ベビーマッサージ、相談等、育児に関する情報交換、お好みの飲み物でティータイム

**スタッフ** 保健師、管理栄養士、助産師(おひさまの会)、保育士

※ゆっくりすっぺに駐車場はありませんので、役場の駐車場をご利用ください。



【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所保健センター ☎0120-26-3844

こころの元気を育てる講座

南相馬で開催!

## 懐かしい料理であつまっぺ!

**とき** 11月27日(木) 10時30分~14時

**ところ** 南相馬市原町保健センター(南相馬市原町区小川町322-1)

**内容** 調理実習と交流会 \*食べに来るだけでも大歓迎

**講師** 庄子ヤウ子さん&食生活改善推進員

**定員** 20名

**参加費** 500円

**申込み** 電話にて



【お問い合わせ先】いわき出張所保健師 ☎0120-26-5671

## 保健だより

【お申し込み・お問い合わせ先】  
大熊町役場いわき出張所  
保健師／花房敬子・市岡美奈  
☎0120-26-5671

## いわき出張所 各種催しのご案内

### こころの元気を育てる講座 新たに挑戦！～そばうち～



- 日時** 11月28日(金) 9時30分～13時30分  
**会場** 常磐共同ガス株式会社 ガスワンキッチンスタジオ「ステラ」  
(いわき市常磐湯本町日渡74-7) 駐車場有り  
**講師** 阿部淳平さん  
**参加費** 500円  
**定員** 10名  
**申込み** 11月4日(火)から電話にて先着順



### 子育てひろば

- 日にち** 11月12日(水)と25日(火)  
**時間** 午前9時30分～正午  
**場所** いわき出張所 2階  
**対象** 未就学児とその親  
(祖父母も大歓迎)  
**申込み** 不要



11月は大熊町社会福祉協議会  
主催サロンにお邪魔します。

### 食べて、喋って、 カラダを 動かしませんか

**11月4日(火)**

場所：泉公民館（健康体操）  
講師：永山剛士 健康運動指導士

**11月11日(火)**

場所：鹿島公民館（健康体操）  
講師：新田 隆 介護予防運動指導士

**11月25日(火)**

場所：四倉公民館（料理教室）  
内容：「ごはんで作るだまこ汁」

各会場10時からです。

## 夫沢1区の総会を開きました

猪苗代町のホテルリステル猪苗代で10月5日、夫沢1区の総会を開きました。総会には、渡辺町長をお招きし、ごあいさついただきました。

約50人が県内外から出席した総会では、区の会計や地区集会所、今後の総会の開催等が議題とされ、今までにない活発な会となりました。また、昨年の総会時に申し合わされた中間貯蔵



施設への考え方については、個々の事情も考慮し、夫沢1区としては、個々の判断にゆだねることとしました。

総会終了後には、和やかに懇親会が開かれ、その中では、毎年地区の盆踊りの際に奉納されていた夫沢1区伝統の「神楽」も有志により披露され、皆で楽しいひとときを過ごしました。

(夫沢1区長・杉本征男)

## 下野上1区女性部の総会を開きました

下野上1区女性部の総会を9月26日、いわき市のかんぼの宿で開きました。昨年より参加者が増え、県内外から15人が集まりました。お互い近況を報告し合い、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。

来年も同じころ、いわき市で開く予定です。今回同様、広報おおくまと町公式ホームページ、ブログ大熊町などでお知らせしますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



## あつまっかおおくま交流会を開催します(柏崎市)

新潟県柏崎市方面に避難されている町民の皆様のご参加をお待ちしております。

毎月第三金曜日にイベントを企画しております。

今月はボウリング大会を企画しております。

- ◆日時 11月21日(金)  
10時から11時30分ごろまで
- ◆場所 柏崎市茨目2丁目8番21号  
ダムズポウル柏崎店
- ◆参加費 500円(一人あたり)

【お問い合わせ先】 代表 平子恵理子 ☎090-2999-6278

## こらんしょ大熊を (県北地方大熊町避難者交流会) 忘年会を開きます

県北地方大熊町避難者交流会「こらんしょ大熊」は下記の日程で忘年会を開きます。皆さまのご参加をお待ちしています。

- ◆日時 12月6日(土) 午後6時～
- ◆場所 穴原温泉「吉川屋」  
〒960-0282 福島県福島市飯坂町湯野字新湯6 ☎024-542-2226
- ◆会費 10,000円(当日徴収)
- ◆申込方法 11月28日(金)までご連絡ください。

【お問い合わせ】 代表 菅野充史 ☎090-7233-1148

いわき市内に避難している皆さん!

## お茶会「すまいるサロン」 を開催します

大熊町民であればどなたでもご参加いただけます。ご参加お待ちしております!

- ◆日時 11月19日(水) 10時～15時
- ◆場所 大熊町役場いわき出張所2階調理室
- ◆主催 すまいるサロン
- ◆入場 無料
- ◆持ち物 マイカップ、おにぎりなどの昼食

【お問い合わせ】 ☎080-1830-5567 (小林)

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ

## 大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」のご案内

11月の定例会は次の通り開催します。

- ◆日時 平成26年11月29日(土)  
9:30～12:00
- ◆場所 社団法人茨城県産業会館  
(水戸市桜川2-2-35)
- ◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用ください
- ◆内容 懇談会および懇親会

【お問い合わせ】  
野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608  
Email: tomohiro-n@higashi-t.com

埼玉県へ避難している皆さんへ

輪になろう!

ふみ出そう!

## ひまわりサロン

- ◆日時 11月20日(木) 10:00～  
・おしゃべりサロン
- ※針を持ってチクチクサロンになるかもしれません。
- ◆場所 川口市立やすらぎ会館(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)
- ※11月23日、川口市社協主催の「社協まつり」に浪江焼きそばのブースを出します。参加して3回目になります。ときどき福島に縁を持った方が尋ねられます。それがとても楽しみです。
- ※12月は18日、忘年会を予定しています。

【お問い合わせ】  
ひまわりの会 ☎080-5431-0123 (島田)

# タブレットの ビデオメッセージをみてみよう!!

離れて暮らすあの人の元気な姿や  
もしかしたらあなたも映っているかも!?

- ◎大熊町の民話「牛方山姥」「身代わり地蔵」
- ◎おおくまつくば夏祭り ◎納涼 相馬盆踊り など盛りだくさん!



 **タブレット相談室 : 0800-800-0907**  
お気軽にお電話ください。通話無料(平日 9:00~17:00)

## 大熊町の避難状況

○人口及び世帯数

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成26年9月30日現在	10,878	3,954
増 減	△627	△281

●避難先の状況 (平成26年9月1日現在)

### 福島県内の主な避難先地域

いわき地域4,183人、会津地域2,126人、  
県中地域1,113人

### 福島県外の主な避難先都道府県

埼玉県405人、茨城県409人、  
東京都310人

## 大熊町公式サイト、 ブログ大熊町

を、ご利用ください!

大熊町公式サイト、ブログ大熊町では新着情報や重要なお知らせなどを随時更新しています。ぜひご覧ください。

大熊町公式サイト

<http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

ブログ大熊町

<http://blog-okuma.jugem.jp/>

## おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所	死亡者名	年齢	住所
2014年(平成26年)9月					
渡部 剛	75歳	南平	渡辺 芳雄	89歳	長者原
坂本 洋子	65歳	新町	齋藤 博	78歳	中央台
			高野 トシ子	83歳	中央台

## ●大熊町関連施設お問い合わせ先●

### 大熊町役場

#### ●会津若松出張所

(総務課、企画調整課、税務課、住民課、福祉課、健康介護課、環境対策課、生活支援課、産業建設課、出納室、教育総務課、議会事務局)  
〒965-0873 会津若松市追手町2-41  
TEL：0120-26-3844 (フリーダイヤル)  
FAX：0242-26-3794

#### ●いわき出張所

(生活支援係、健康介護係、復興事業課)  
〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43  
TEL：0120-26-5671 (フリーダイヤル)  
FAX：0246-36-5672

#### ●中通り連絡事務所

〒964-0915 二本松市金色421-10  
オフィス・ウインドストリーム1F  
TEL：0120-24-1013 (フリーダイヤル)  
FAX：0243-24-1259

#### ●現地連絡事務所

〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉125  
坂下ダム施設管理事務所内  
TEL：0240-32-2318 FAX：0240-32-5460  
※現地連絡事務所では大熊町内の防火・防犯、一時立入者の補助業務を行っています。それ以外の業務につきましては、会津若松出張所またはいわき出張所、中通り連絡事務所へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

### 大熊中学校

〒965-0003 会津若松市一箕町八幡字門田9-2  
TEL：0242-23-7214 FAX：0242-37-7157

### 大野小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186  
TEL：0242-75-2350 FAX：0242-75-2352

### 熊町小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186  
TEL：0242-76-1821 FAX：0242-76-1822

### 大熊幼稚園

〒969-3471 会津若松市河東町広田字塩新182  
TEL：0242-75-3150 FAX：0242-76-1718

### 大熊町社会福祉協議会

#### ●会津若松出張所

〒965-0873 会津若松市追手町2-41  
(大熊町役場会津若松出張所内)  
TEL：0242-29-5760 FAX：0242-29-5761

#### ●いわき連絡所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43  
(大熊町役場いわき出張所内)  
TEL：0246-38-8920 FAX：0246-38-8921

#### ●中通り連絡所

〒964-0915 二本松市金色421-10  
(大熊町役場中通り連絡事務所2階)  
TEL：0243-24-1338 FAX：0243-24-1339

### 大熊町商工会

〒965-0873 会津若松市追手町2-41  
(大熊町役場会津若松出張所内)  
TEL：0242-29-5770 FAX：0242-29-5771

## 町長室から

渡辺 利綱



7月に会津若松市で開かれた夏まつりで大熊町の伝統芸能、熊川稚児鹿舞が4年ぶりに復活しました。同市といわき市で暮らす2組の小学生の兄弟が踊り手役を務めました。道具が津波で流されたり練習場所が遠かったりなど、さまざまな困難を乗り越えて見事に成果を発揮しました。しばらくお目にかかる機会がありませんでしたが、古里を遠く離れて披露された舞には感慨深いものがありました。涙を流して見物する皆さんもおり、伝統芸能が持つ求心力を実感しました。一方、皆さんにお配りしているタブレット端末の動画

## 残されたもの

では、町の民話を紹介する取り組みが始まりました。生涯学習団体おおくまふるさと塾などの協力を得て、語りと挿絵で構成しています。今に伝わる町内の民話は40とも50ともいわれますが、このうち20前後の話を順次紹介していく予定です。

伝統芸能や民話は古里で何百年もかけ、代々受け継がれてきた財産です。町は千年に一度といわれる大災害に見舞われ、たくさんのが奪われ、3年半が過ぎた今も戻れない状況が続いています。それでも、脈々と続けられてきた暮らしを、ここで途切れさせるわけにはいけません。私たち町民の心に残り、今も輝き続ける古里の財産は、そんなことを思わせてくれます。



à la carte

あらかると

## 顔晴ろう！大熊っ子！

大熊町立小中学校、幼稚園の合同運動会「顔晴（がんば）ろう！大熊っ子！大会」は9月20日、会津若松市河東町の熊町・大野小の仮校舎校庭で開かれました。

開会式で聖火入場、優勝旗返還などを行った後、26種目を繰り広げました。応援合戦やかけっこ、ダンス、玉入れ、綱引き、組体操などに取り組みました。昼休みには町出身の陸上選手秋本真吾さんと一緒に走ったり、高校生がフラダンスを披露したりする時間もありました。

晴天に恵まれ、子どもたちはさわやかな汗を流しました。保護者や町民らが大勢詰めかけ、一生懸命な子どもたちを見守りました。



◀一斉にスタートする子ども



▲長縄跳びの回数を競う中学生

◀ダンスを披露する園児

## 大川原で稲刈り



▲稲を鎌で刈り取る参加者

大熊町内で営農再開の可能性を探るため、大川原宇南平の実証田で栽培されていたコメの収穫が10月7日行われ、関係者が4年ぶりの稲刈りに汗を流しました。

約23アールの水田でひとめぼれを育てていました。稲刈りには町農業委員や地元農家、町職員ら10人余りが当たりました。鎌で1株ずつ手刈りし、束ねて棒掛けにしました。台風一過の晴天の下、参加者は笑顔で作業しました。

コメは放射性物質の含有量を調べるため検査機関に送られる以外はすべて廃棄されます。

町農業委員の堀川健さんは「手刈りなんてするのは



▲稲刈りを前に笑顔を見せる参加者

30年ぶりぐらいだ。若いころは大変に思ったこともあったが、久々の農作業は昔を思い出して懐かしかった」と話していました。